

令和4年度 防災教育全体計画

仙台市立長町小学校

学校教育目標
心豊かにたくましく、進んで学び、共に高め合う長町の子供

児童の実態
本校は、明治6年に開校した歴史と伝統のある学校で、児童数約700名の大規模校である。平成24年度に「新たな学校防災教育モデル校」に指定され、防災教育を学校の重点目標の一つとして取り組んできたこともあり、児童の防災に対する意識が高い。地震発生時には、素早く整然と机の下に潜るなど、自らの安全を守ろうとする態度が見られる。

地域の実態
本校は、地下鉄やJR東北線の長町駅に近く、国道をはじめとする道路網も整備された仙台市の南部に位置している。交通環境の発展に伴い、宅地化が一層進み、マンションの建設が目立ち高層化の兆しを見せている。それに伴い、地域全体の意識にも多様性が見られるようになってきたが、地域や保護者は、学校の教育活動に対して協力的である。

防災教育の目標
—自らの危険を予測し、回避する能力を高める防災教育の推進—
(1) 平常時から災害に備え、災害時に冷静に判断し、自らの命を守り、臨機応変に自らの安全を確保できる力を育てる。【自助の力】
(2) 平常時から進んで他の人や地域の力となり、災害時の対応や地域に協力し活動に参画できる力を育てる。【共助の力】

平常時における「防災」＋災害時における「災害対応」

知識及び技能の習得
災害発生メカニズムや地域に起こりうる災害について理解し、災害時に危険を予測し安全を確保することができるようにするとともに日常的な備えができるようにする。

思考力・判断力・表現力の育成
災害における危機を認識し、適切な意思決定や行動選択等、的確な思考・判断ができるようにする。

学びに向かう力・人間性などの涵養
平常時から、思いやりや感謝の心を醸成し、進んで他の人や地域と関わり、助け合い、支え合うことを通して、災害発生時などに人としてとるべき行動の根底となる心や態度を育む。

各学年の目標

低学年
・どんな自然災害があるかや、災害から自分の命を守るためにはどうすればよいかについて知る。(知識・技能)
・災害発生時には、周りの状況を判断し、自分の命を守るための行動を取ることができる。(思考力・判断力・表現力)
・災害発生時には、大人の話をしっかり聞き、指示に従って行動できる。(学びに向かう力・人間性・態度)

中学年
・自然災害の種類について知るとともに、それに備えた学校や地域の防災対策があることを理解する。(知識・技能)
・災害発生時には、周りの状況を判断し、自分の命を守るための行動を取ることができる。(思考力・判断力・表現力)
・災害発生時には、進んで家族の手伝いをしたり、友達と助け合ったりすることができる。(学びに向かう力・人間性・態度)

高学年
・過去の自然災害について知るとともに、自然災害発生メカニズムについて理解することができる。
・初歩的な応急処置ができる。(知識・技能)
・災害発生時には、危険を予測し、自分の命を守るために適切な行動を取ることができる。(思考力・判断力・表現力)
・災害発生時には、学校では下学年児童の世話をし、地域では家族や友達、地域の方と協力し活動することができる。(学びに向かう力・人間性・態度)

各教科・領域との関連

各教科
・言語活動の充実と思考力・判断力の育成
・防災・減災に関する知識・技能の習得
・災害発生メカニズムや災害に対する地域の特性についての理解

道徳
・生命を尊重し、自他を大切にすらしや思いやりの気持ちの育成
・地域の一員としての自覚を持ち、進んで地域社会のために奉仕しようとする心の育成

特別活動
・自立心や責任感、共助の心を育むための縦割り活動の推進
・安全マップづくりや家族防災会議、避難訓練を通じた防災に関する自主的・実践的な態度の育成

総合的な学習の時間
・新防災教育副読本を活用した授業の実践
・自助・共助の力を高めるための自分づくり教育の推進
・安全で安心な地域づくりについて考える態度の育成

【保護者・地域との連携】
・地域防災に関する保護者・地域との協働の取り組みの推進
・子供会、町内会、中学校と連携したボランティア活動の推進
・非常時に生きる「顔が見える関係づくり」を目指したPTAや町内会、商店街との連携
・地域の人材・素材等を活用した防災リテラシーの育成